

昭和高等学校 令和5年度 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：A組・B組・E組・G組：井川 C組：落 D組：近藤 F・H組：木内

使用教科書：高等学校新地理総合（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院）

教科 地理歴史の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学期 A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (1) 地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 (1) 方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつき 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図 (2) 地図や地理情報システム 日常生活の中で見られる様々な地図の読図 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1 台端末の活用、グループワーク・発表	①現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解している。日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13
			定期考査			○
B 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 (1) 自然環境と生活文化 東南アジアの人々の生活と文化 (2) 産業と生活文化 東アジア、北アメリカの人々の生活と文化 (3) 言語、宗教と生活文化 西アジア・北アフリカの人々の生活と文化 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1 台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
			定期考査			○

2 学 期	<p>B 国際理解と国際協力 (2) 地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】さまざまな地球的課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目</p> <p>(1) 地球環境問題</p> <p>(2) 資源・エネルギー問題</p> <p>(3) 人口・食料問題</p> <p>(4) 居住・都市問題</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1 台端末の活用、グループワーク・発表</p>	<p>①世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。</p> <p>②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③さまざまな地球的課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	<p>C 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災</p> <p>【知識及び技能】我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目</p> <p>(1) 地震・津波と防災</p> <p>(2) 火山災害と防災</p> <p>(3) 気象災害と防災</p> <p>(4) 自然災害に備えたくらし</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1 台端末の活用、グループワーク・発表</p>	<p>①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けている。</p> <p>②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>C 持続可能な地域づくりと私たち (2) 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識及び技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】生活圏の地理的な課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目</p> <p>(1) 地域調査の方法</p> <p>(2) 昭和高校周辺の地域調査</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1 台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出</p>	<p>①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解している。</p> <p>②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③生活圏の地理的な課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：A 組：伊藤 誠 B 組・C組・F組・G組・H組：中田 民夫

D 組・E組：小島 一基

使用教科書：（ 詳解 歴史総合（東京書籍） ）

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の課題を歴史的視点から考察させることを通して、時期や推移などに着目して因果関係などで関連付けて捉え、現代的な課題の形成に関わる近現代の歴史について考察したり、歴史に見られる課題や現代的な課題について、複数の立場や意見を踏まえて構想したりする力を身に付けさせる。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在との繋がりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題に主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 近代化と私たち 【知識及び技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 (2) 結びつく世界と日本の開国 ・教材 教科書、資料集、ワークシート 一人1台端末の活用、グループワーク・発表	【知識及び技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第1章近代化とわたしたち 【知識及び技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代現代の歴史の変化にかかわる諸現象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 (3) 国民国家と明治維新 ・教材 教科書、資料集、ワークシート 一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出	【知識及び技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近代現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそとでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 国際秩序の変化や大衆化への問い(2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 ・教材教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート・論文提出	【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な 技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそとでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそとでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 経済危機と第二次世界大戦 (4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ・教材教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、プレゼンテーション、レポート・論文提出	【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な 技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそとでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		15
定期考査			○	○		1	
3 学 期	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち【知識及び技能】 ・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそとでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 国際秩序の変化や大衆化への問い(2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 ・教材教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート・論文提出	【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な 技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそとでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		13
	定期考査			○	○		1
							70

昭和高等学校 令和5年度 教科 地理歴史 科目 地理探究

教科：地理歴史 科目：地理探究 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者：A組・B組：井川 C組・D組・E組・F組・G組・H組：落

使用教科書：地理探究（二宮書店）・新詳高等地図（帝国書院）

教科 地理歴史の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A現代世界の系統地理的考察（1）自然環境 【知識及び技能】地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （1）場所や人間と地形や気候などの自然環境との相互依存関係。 （2）地形や気候などの自然環境についての課題の追及や解決に向けての活動。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表	①地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 ②地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 ③自然環境に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	A現代世界の系統地理的考察（2）資源、産業（3）交通・通信、観光 【知識及び技能】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。また、交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】資源・エネルギーや農業、工業、交通・通信網と物流や人の移動に関する諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】資源、産業、交通・通信、観光に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （1）資源・エネルギーや農業、工業、交通・通信、観光などに関する場所や空間的相互依存作用。 （2）資源・エネルギーや農業、工業、交通・通信、観光などに関する課題の追及や解決に向けての活動。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出	①資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 ②資源・エネルギーや農業、工業、交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③資源、産業、交通・通信、観光に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われている。	○	○	○	21
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>A 現代世界の系統地理的考察 (4) 人口、都市・村落 (5) 生活文化、民族・宗教</p> <p>【知識及び技能】人口、都市・村落などに関する諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。また、生活文化、民族・宗教などに関する諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目</p> <p>(1) 人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる場所や空間的相互依存作用。</p> <p>(2) 人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる課題の追及や解決に向けての活動。</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用、グループワーク・発表</p>	<p>①人口、都市・村落などに関する諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。また、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。</p> <p>②人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	<p>B 現代世界の地誌的考察 (1) 現代世界の地域区分 (2) 現代世界の諸地域</p> <p>【知識及び技能】世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解する。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付ける。幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解する。や幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現する。現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目</p> <p>(1) 現代世界の地誌的考察に関わる空間的相互依存作用や地域。</p> <p>(2) 現代世界の地誌的考察に関わる課題の追及や解決に向けての活動。</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出</p>	<p>①世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付けている。幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解している。や幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。</p> <p>②世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現している。現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	21
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>C 現代世界におけるこれからの日本の国土像 (1) 持続可能な国土像の探究</p> <p>【知識及び技能】現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方など主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に探究し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目</p> <p>(1) 日本の国土像に関わる空間的相互依存作用や地域。</p> <p>(2) 日本の国土像に関わる課題の追及や解決に向けての活動。</p> <p>・教材</p> <p>教科書、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出</p>	<p>①現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。</p> <p>②現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方など主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に探究し、表現している。</p> <p>③現代世界におけるこれからの日本の国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～H組

教科担当者：（AB組：小島）（CD組：小島）（EF組：小島）（GH組：小島）

使用教科書：（世界史探究 東京書籍）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
①農耕や牧畜をはじめたことで、人類の暮らしはどのように変化したのだろうか。 ・農耕・牧畜の開始から国家の成立までの過程における、人類の生活や社会の変化について考える。	・指導事項 文化の始まり 農耕社会の成立 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「古代文明の出現」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
①古代オリエントには、どのような特徴をもった文明が生まれたのか。また、諸民族の侵入や移動は、オリエントの歴史にどのような変化をもたらしたのだろうか。 ・メソポタミア文明やエジプト文明の特色について考える。 ・東地中海の諸民族の活動と彼らが生み出した文化や宗教について考える 定期考査	・指導事項 オリエント世界 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】メソポタミア文明やエジプト文明、エーゲ文明について、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】メソポタミア文明、エジプト文明、エーゲ文明がそれぞれの自然環境とどのように関係しておいたのか、それらの文明がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		9
①古代ギリシアのポリスには、どのような特徴があったのだろうか。 ・ポリスの成立と発展について考える。 ・アテネの民主政の発展と特徴、ポリスの衰退について考える。 ②アレクサンドロスの東方遠征や大帝国の建設は、ギリシア・オリエントの文化にどのような変化をもたらしたのだろうか。 ・アレクサンドロス大王の東方遠征と、ヘレニズム文化の形成について考える	・指導事項 古代ギリシア文明 ヘレニズム文化 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】古代ギリシアとヘレニズム世界について、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがあのかについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「西アジアと地中海周辺」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○		10
①ローマの共和政はどのようにして帝政へと変容していったのだろうか。 ・ローマにおける共和政の成立と支配領域の拡大について考える。 ・ローマにおける帝政への移行とキリスト教の誕生・拡大について考える。 定期考査	・指導事項 共和政ローマ 帝政ローマ ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】ローマによる地中海世界の統一や、ローマが共和政から帝政に移行した背景などについて、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】ローマがなぜ共和政から帝政に移行したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「共和政および帝政ローマ」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
			○	○		1

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科: 地理歴史 科目: 日本史探究 単位数: 3 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ H組

教科担当者: (AB組: 池田) (CD組: 錦織) (EF組: 錦織) (GH組: 錦織)

使用教科書: (詳説 日本史 山川出版社)

教科 地理歴史の目標:

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当 時数
1 学期	①人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。③大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。	・指導事項 文化の始まり 農耕社会の成立 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	9
	①地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。②ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。	・指導事項 古墳文化の展開 飛鳥の朝廷 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	①律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。②律令にもとづく国内統治体制について理解する。③律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。	・指導事項 律令国家への道 平城京の時代 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【主体的】 平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10

	①律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。②平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。	・指導事項 律令国家の文化・変容 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 【思考・判断・表現】蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 【主体的】隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	①藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。②大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。	・指導事項 摂関政治・国風文化 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。【思考・判断・表現】奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。【主体的】平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	9
	①律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。②地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。	・指導事項 地方政治の展開と武士 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。【思考・判断・表現】文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。【主体的】国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	①院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。②政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。	・指導事項 院政と平氏政権 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。【思考・判断・表現】武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。【主体的】中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	○	○	○	9
	①鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。②承久の乱にもなる公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。	・指導事項 鎌倉幕府の成立 武士の社会 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。【思考・判断・表現】武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。【主体的】公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

3 学 期	①モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。②庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 元寇と幕府の衰退 鎌倉文化 ・教材 教科書 資料集 ・一人1 台端末の活用 	<p>【知識・技能】宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的】宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	9
	①南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 室町幕府の成立 ・教材 教科書 資料集 ・一人1 台端末の活用 	<p>【知識・技能】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。【思考・判断・表現】南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的】武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	9
	①庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 幕府の衰退と庶民の台頭 ・教材 教科書 資料集 ・一人1 台端末の活用 	<p>【知識・技能】諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。【思考・判断・表現】自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的】室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
						合計	105

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ H 組 単位数: 2 単位
教科担当者: (～A組: 福岡 勇二) (B組: 福岡 勇二) (C組: 安齊 優) (D組: 安齊 優) (E組: 福岡 勇二) (F組: 福岡 勇二) (G組: 安齊 優) (H組: 安齊 優)
使用教科書: 詳述公共 実教出版

教科 公民
【知識及び技能】 現代の諸課題についての基礎的な概念や理論を理解し、資料活用能力を高めることで社会とのつながりを意識した「生きる力」を高める。
【思考力、判断力、表現力等】 「幸福、正義、公正」の観点から合意形成を行う基礎的な力を養い、持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度や自覚を涵養する。
【学びに向かう力、人間性等】 「1人1台端末」を活用し、自らの問題意識を探究することで社会的現象等を多角的、多面的に考え、学び続ける力を育む。

Table with 3 columns: 知識及び技能, 思考力、判断力、表現力等, 学びに向かう力、人間性等. It details learning objectives and methods for the course.

Main table with 5 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 感, 配当時間. It contains detailed lesson plans for units on social structure, Japanese constitution, and economic activities.

3 学 期	<p>A 単元 国際政治の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 世界の中での日本につき国際社会の基本を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「QUAD」などの「ミニラテラリズム」が重く、2つの国の拒否権などで国連が形骸化する現状を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際政治について、まずは主体的に学ぶ姿勢を。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源なく、少子高齢化の進む日本は、国際社会と協力して成長していかなければならないことを指導する。 ・教科書とPDFプリントなどの併用は同じだが、何よりもここは地図などを主に利用し、地政学的な日本の条件を視覚的に学ぶ。 ・一人1台端末やスマホの活用（グループマップなど） 	<p>【知識・技能】 国際連盟・連合との違いなど、国際社会の形成をしっかりと理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 「世界の中の日本」を、主観的・客観的に両面からしっかりとらえる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自衛隊はあまり絡めず、ウクライナ侵攻の最中、軍備の縮小と拡大の両面から、国際社会の適切なあり方を考える。</p>	○	○	○	9	
	<p>A 単元 国際経済の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 国際経済の基本的なしくみについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 グローバル経済下の日本経済のあり方を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 SDGs とつなげ、国際経済の課題を主体的に学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IMF/GATT の体制から、「関税」などの貿易上の意味や、現実的なできごとについて指導する。 ・教科書とPDFプリントなどの併用は同じ。DKグループなどを取り入れた集団討論（GD）の実施 ・一人1台端末やスマホの活用などとともに、公正な国際貿易やSDGsの実現などについて、P.271やP.286ページのActiveを使用する。 	<p>【知識・技能】 比較生産費説や国際収支表、自由貿易の意義などについて理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 貧困や環境保全等を含めた国際経済と日本について考え、表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本が21世紀の国際経済において進べき方向性を探究できる。</p>	○	○	○	8	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70

昭和高等学校令和5年度 教科 地理歴史 科目 地理B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：地理B 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A～H組

教科担当者：井川一実

使用教科書：地理B（東京書籍） 新詳高等地図（帝国書院）

使用教材：地理用語集（山川出版社） 地理統計（帝国書院） 整理と演習（とうほう）

	指導内容	地理Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	地理情報と地図	地図の有用性に気づき、現代世界の地理的事象をとらえる地理的技能を身に付ける	観察、ワークシート	3
	地図の活用と地域調査	生活圏の地域的特色をとらえる地理的技能を身に付ける	観察、ワークシート	3
5月	自然環境 大地形	世界の大規模な地形について分布や人間生活とのかかわりについて考察し理解する	観察、ワークシート	2
	自然環境 小地形	日本を中心に小規模な地形について分布や人間生活とのかかわりについて考察し理解する	観察、ワークシート	3
	中間考査・解説		考査	1
	エネルギー・鉱産資源	世界のエネルギー・鉱産資源について分布や人間生活とのかかわりや課題について考察し理解する	観察、ワークシート	2
6月	農業	世界の農業について分布や人間生活とのかかわりや課題について考察し理解する	観察、ワークシート	3
	工業	世界の工業について分布や人間生活とのかかわりや課題について考察し理解する	観察、ワークシート	3
	流通・消費	世界の流通と消費について分布や人間生活とのかかわりや課題について考察し理解する	観察、ワークシート	2
7月	期末考査・解説		考査	1
	人口・都市村落	世界の人口と都市村落について分布や動向、課題について考察し理解する	観察、ワークシート	3
8月	人口・都市村落	世界の人口と都市村落について分布や動向、課題について考察し理解する	観察、ワークシート	2

	指導内容	地理Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	生活文化・民族宗教	世界の生活文化・民族宗教について分布や民族と国家の関係、課題について考察し理解する	観察、ワークシート	2
	現代世界の地域区分	地域区分の意義を理解するとともにその有用性に気付く	観察、ワークシート	2
	現代世界の諸地域 東アジア	東アジアの地域的特色や地球的課題について理解し地誌的に考察する方法を身に付ける	観察、ワークシート	3
	現代世界の諸地域 東南アジア	東南アジアの地域的特色や地球的課題について理解し地誌的に考察する方法を身に付ける	観察、ワークシート	2
10 月	現代世界の諸地域 南アジア	南アジアの地域的特色や地球的課題について理解し地誌的に考察する方法を身に付ける	観察、ワークシート	2
	中間考査・解説		考査	1
	現代世界の諸地域 西アジア・北アフリカ	西アジア・北アフリカの地域的特色や地球的課題について理解し地誌的に考察する方法を身に付ける	観察、ワークシート	2
	現代世界の諸地域 中南アフリカ	中南アフリカの地域的特色や地球的課題について理解し地誌的に考察する方法を身に付ける	観察、ワークシート	2
11 月	現代世界の諸地域 ヨーロッパ	ヨーロッパの地域的特色や地球的課題について理解し地誌的に考察する方法を身に付ける	観察、ワークシート	3
	現代世界の諸地域 アングロアメリカ	アングロアメリカの地域的特色や地球的課題について理解し地誌的に考察する方法を身に付ける	観察、ワークシート	3
	現代世界の諸地域 ラテンアメリカ	ラテンアメリカの地域的特色や地球的課題について理解し地誌的に考察する方法を身に付ける		2
	現代世界の諸地域 オセアニア	オセアニアの地域的特色や地球的課題について理解し地誌的に考察する方法を身に付ける		2
12 月	期末考査・解説		考査	1
	年間のまとめ		観察、ワークシート	2
1 月	問題演習			
2 月	問題演習			
3 月	問題演習			

昭和高等学校 令和5年度 地理歴史科 世界史B 年間授業計画

教科：地理歴史科 科目：世界史B 単位数：4単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：(A組～H組：伊藤誠)

使用教科書：(『詳説世界史B』 山川出版社)

使用教材：(『グローバルワイド最新世界史図表』 第一学習社)

	指導内容	科目：世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	産業革命	イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	アメリカ独立革命	アメリカ独立革命の経過と、独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	フランス革命とナポレオン	アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
5月	フランス革命とナポレオン	アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	ウィーン体制の成立	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	2
	ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編、イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程、ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
	南北アメリカの発展	ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の領土拡張と南北戦争以後の発展を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	2
	19世紀欧米の文化	19世紀の欧米文化の特徴とその成立の背景を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	2
6月	オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容	西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ諸民族の覚醒、イラン・アフガニスタンの動向を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	南アジア・東南アジアの植民地化	インドの植民地化とその社会の変貌、東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	2
	東アジアの激動	ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	8
	帝国主義と列強の展開	帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	2
7月	世界分割と列強対立	帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	5
8月	アジア諸国の改革と民族運動	欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	2

	指導内容	科目：世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	アジア諸国の改革と民族運動	欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	第一次世界大戦とロシア革命	第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20世紀の変動の基点となったことを理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	アジア・アフリカ地域の民族運動	中国や東南アジア諸国、インド、トルコや西アジア諸国、アフリカの民族運動の展開を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	2
10月	世界恐慌とファシズム諸国の侵略	世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的な緊張が高まる時代を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	第二次世界大戦	第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	第二次世界大戦後、米ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。中華人民共和国の成立や朝鮮の分断、アジア諸地域の独立の過程を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	4
	米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興	朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から、日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって、国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
11月	第三世界の台頭と米ソの歩み寄り	戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する。米ソの両大国の動揺と国際的な影響力の減退を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	石油危機と世界経済の再編	ドル＝ショック、オイル＝ショック以降の国際経済の再編、冷戦の終結への流れを理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	2
	社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展	東欧社会主義圏の消滅、ソ連邦の解体と民族紛争、グローバル経済の進展を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
	途上国の民主化と独裁政権の動揺	途上国の民主化の進展と、アジア社会主義国家の変容を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
12月	地域紛争の激化と深刻化する貧困	世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	3
	現代文明の諸相	情報技術・科学技術の発達と現代文明の抱える危機、現代思想や文化の特徴について理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	2
1月	入試問題演習	各進路希望に応じて必要な演習を行い、学習内容の理解を深める。	・演習への取り組み ・授業態度 ・確認テスト	14
2月	入試問題演習	各進路希望に応じて必要な演習を行い、学習内容の理解を深める。	・演習への取り組み ・授業態度 ・確認テスト	14
3月	入試問題演習	各進路希望に応じて必要な演習を行い、学習内容の理解を深める。	・演習への取り組み ・授業態度 ・確認テスト	4

昭和高等学校 令和5年度 教科 地歴 科目 日本史B 年間授業計画

教科：地歴 科目：日本史B 単位数：4単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：(A～H組：池田) (A～D組：錦織)

使用教科書：『詳説日本史B』山川出版社

使用教材：『新詳日本史』浜島書店 『新日本史史料集成』第一学習社

	指導内容	日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	室町時代 幕府の動揺と一揆 室町文化 幕藩体制の確立	戦国期における社会の転換、一揆結合における民衆の力の向上と関わらせて理解させる。 北山文化・東山文化の特徴に力点を置きつつ、庶民文化の様相を加味しながら注目させ解説する。 幕藩体制、幕府と藩の機構、天皇と朝廷、禁教と寺社、江戸時代初期の外交、鎖国政策、長崎貿易、朝鮮と琉球、蝦夷地、寛永期の文化について、詳しく理解する。江戸期の身分と社会、村と百姓、町と町人、農業、林工業・鉱業、商業について詳しく理解する。	定期考査他	8
5月	幕藩体制の確立 幕藩体制の展開	江戸期の身分と社会、村と百姓、町と町人、農業、林工業・鉱業、商業について詳しく理解する。 平和と秩序の確立、元禄時代、正徳の政治、農業生産の進展、諸産業の発達、交通の整備と発達、貨幣と金融、三都の発展、商業の展開について詳しく理解する。		
6月	幕藩体制の展開 幕藩体制の動揺	三都の発展、商業の展開について詳しく理解する。 享保の改革、社会の変容、一揆と打ちこわし田沼時代、宝暦・天明期の文化、洋学の始まり、国学の発達と尊王論、生活から生まれた思想、儒学教育と学校、文学と芸能、絵画について詳しく理解する。 寛政の改革、鎖国の動揺、文化・文政時代、大塩の乱、天保の改革、経済の変化、朝廷と雄藩の浮上、化政文化、学問・思想の動き、教育、文学、美術、民衆文化の成熟について、詳しく理解する。		
7月	二つの大戦とアジア	戦後恐慌から金融恐慌について、詳しく理解する。	定期考査他	9
8月	二つの大戦とアジア	社会主義運動の高まりと積極外交への転換について詳しく理解する。		

	指導内容	日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	二つの大戦とアジア	金解禁と世界恐慌、協調外交の挫折、満州事変、政党内閣の崩壊と国際連盟からの脱退、恐慌からの脱出、転向の時代、二二六事件について詳しく理解する。 三国防共協定、日中戦争、戦時統制と生活、戦時下の文化、第二次世界大戦の勃発、新体制と三国同盟、太平洋戦争の始まり、戦局の展開、国民生活の崩壊、敗戦について、詳しく理解する。	定期考査他	14
10月	占領下の日本	戦後世界秩序の形成、初期の占領政策、民主化政策、政党政治の復活、日本国憲法の制定、生活の混乱と大衆運動の高揚について、詳しく理解する。 冷戦体制の形成と東アジア、占領政策の転換、朝鮮戦争と日本、講和と安保条約、占領期の文化について、詳しく理解する。	定期考査他	13
11月	高度成長の時代	冷戦構造の世界、独立回復後の国内再編、55年体制の成立、安保条約の改定、保守政権の安定について、詳しく理解する。 朝鮮特需と経済復興、高度経済成長、大衆消費社会の誕生、高度成長のひずみについて、詳しく理解する。	定期考査他	18
12月	激動する世界と日本	ドル危機と石油危機、高度経済成長の終焉、経済大国の実現、バブル経済と市民生活について、詳しく理解する。 冷戦から地域紛争へ、55年体制の崩壊、平成不況化の日本経済、現代の諸課題について詳しく理解する。	定期考査他	9
1月	総復習	大学入学共通テストに向けて、問題演習を通じて得点力をつける。 難関私立大学の入試に向けて、問題演習を通じて得点力をつける。	定期考査他	10
2月	総復習	難関私立大学の入試に向けて、問題演習を通じて得点力をつける。		8
	総復習			4

昭和高等学校 令和5年度 教科 公民 科目 現代社会 年間授業計画

教科：公民 科目：現代社会 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：A組～H組：高橋

使用教科書：高等学校 改訂版 現代社会（第一学習社）

使用教材：ライブ！2023 公共、現代社会を考える（帝国書院）

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	現代に生きる青年	・青年期の意義と自己形成の課題について説明できる。 ・現代社会における青年の生き方について説明できる。	観察、ワークシート	4
	現代に生きる青年	・伝統、文化と私たちの生活について説明できる。	観察、ワークシート	2
	民主政治における個人と国家	・民主政治の歴史とその理論について理解できる。	観察、ワークシート	2
	民主政治における個人と国家	・個人と国家の関係について、生活に即して考えることができる。	観察、ワークシート	2
5月	基本的人権と法の支配	・法の概念とその役割について理解できる。 ・基本的人権の歴史を踏まえ、現代社会の課題について考えることができる。	観察、ワークシート	2
	世界のおもな政治体制	・イギリス、アメリカ、中国の政治体制の特徴を理解できる。 ・異なる政治体制の国を比較し、その長所と短所を読み取るることができる。	観察、ワークシート	2
	中間考査と解説		定期考査	2
	国家主権と国際法	・主権国家の成立と国際法のきまりについて説明できる ・集団安全保障と国際組織の在り方について説明できる	観察、ワークシート	2
6月	日本国憲法の基本原理	・日本国憲法の成立の背景とその原理を理解できる。 ・日本国憲法と大日本帝国憲法の違いを説明できる。	観察、ワークシート	2
	平和主義と安全保障	・日本国憲法第9条の特徴と解釈の歴史について理解できる。 ・日本の安全保障政策の変化を踏まえ、今後の在り方について考えることができる。	観察、ワークシート	2
	基本的人権の保障と新しい人権	・日本国憲法における基本的人権の保障の在り方を理解できる。 ・新しい人権が生まれた背景と現在の日本における扱いを理解できる。	観察、ワークシート	4
7月	期末考査・解説		定期考査	2
	1学期の復習		観察、ワークシート	2
	国民主権と議会制民主主義	・議会制民主主義の原理について説明できる。 ・国会の権限と仕組みについて説明できる。	観察、ワークシート	2
8月	国際政治の動向と日本の役割	夏期講習		
	国際経済の動向と日本の役割	夏期講習		

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	内閣と行政の民主化	<ul style="list-style-type: none"> 議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限について説明できる。 行政の民主化について説明できる。 	観察、ワークシート	2
	裁判所と人権保障	<ul style="list-style-type: none"> 司法権の独立について、必要性を説明できる。 日本の司法制度について説明できる。 裁判員制度について説明できる。 	観察、ワークシート	2
	地方自治と住民福祉	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治の制度、抱える問題点について説明できる。 	観察、ワークシート	2
	世論形成と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 政党の役割、日本の選挙制度について説明できる。 	観察、ワークシート	2
10月	経済社会と経済体制 市場経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義と社会主義の違いについて説明できる。 市場の原理と市場の失敗の具体的な事例を身近な例で挙げるができる。 市場の機能に対しての政府の役割について、その狙いを説明することができる。 	観察、ワークシート	2
	中間考査・解説		定期考査	2
	経済成長と景気変動	<ul style="list-style-type: none"> 国民経済全体を表す指標の種類と違いについて理解し、その相互関係から数値を求めることができる。 経済の循環について理解できる。 物価の変動と景気変動の関係性について理解できる。 	観察、ワークシート	2
	政府の経済的役割と租税の意義 金融機関のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> 財政の役割を理解した上で、日本の財政の課題について考えることができる。 金融の仕組みと役割について理解できる。 金融政策の変遷とねらいを説明できる。 	観察、ワークシート	2
11月	戦後の日本経済の働き 雇用と労働問題	<ul style="list-style-type: none"> 日本の高度経済成長について、説明できる。 バブル経済と平成不況について、説明できる。 	観察、ワークシート	2
	社会保障と国民福祉 国際経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 日本の社会保障制度の概要と、その課題について説明できる。 貿易の必要性、円高と円安について、説明できる。 	観察、ワークシート	2
	豊かな人生を求めて 日本の伝統的なモノの考え方	<ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシア哲学について理解できる。 世界の三大宗教について特徴を説明できる。 日本の伝統的なモノの見方について説明できる。 	観察、ワークシート	2
	近代の西洋思想 現代に生きる人間の倫理	<ul style="list-style-type: none"> 人間中心主義、経験論と合理論、カントとヘーゲルについて理解できる。 社会主義、功利主義、実存主義、について説明できる。 フランクフルト学派、ヒューマニズムについて説明できる。 	観察、ワークシート	2
12月	期末考査・解説		定期考査	2
	時事問題解説	1年間の時事問題について解説	観察、ワークシート	2
	時事問題解説	1年間の時事問題について解説	観察、ワークシート	2
1月	哲学分野のまとめ	1年間の不足分、要点部分の解説	観察、ワークシート	2
	共通テスト対策	1年間の不足分、要点部分の解説	観察、ワークシート	2
	政治分野のまとめ	1年間の不足分、要点部分の解説	観察、ワークシート	2
	経済分野のまとめ	1年間の不足分、要点部分の解説	観察、ワークシート	2
2月	演習			
3月	演習			

昭和高等学校 令和5年度 教科 公民 科目 政治・経済 年間授業計画

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2単位

対象学年組：第3学年選択者

教科担当者：高橋

使用教科書：政治・経済（東京書籍）

使用教材：政治・経済資料2022（とうほう）

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス 企業・中小企業	・政治経済の科目全体から、今年度の勉強計画の見直しをつけさせる ・企業と中小企業の特徴を理解し、その問題点と課題について考えることができる	観察、ワークシート	2
	経済学説と経済史	・資本主義と社会主義をめぐる経済史を学び、その特徴と問題点を理解させる ・さまざまな経済学説の特徴を理解させる	観察、ワークシート	2
	経済主体と市場機構	・経済主体の特徴を理解させる ・市場機構の特徴と問題点を理解させ、市場メカニズムの数学的な考え方ができるようにさせる	観察、ワークシート	2
5月	金融のしくみと機能	・金融システムの特徴と、最近の変化を理解させる ・金融制度にまつわる数学的な考え方ができるようにさせる	観察、ワークシート	2
	財政のしくみと機能	・日本の財政システムの特徴と、最近の変化を理解させる ・財政制度にまつわる数学的な考え方ができるようにさせる	観察、ワークシート	2
	中間考査・解説		観察、ワークシート	2
	国民所得と経済成長	・国民所得の考え方の特徴を理解させる ・経済成長率について数学的な考え方ができるようにさせる	観察、ワークシート	2
6月	日本経済史	・戦後の経済再建から高度成長までの特徴を理解させる ・オイルショック後からバブル経済、日本経済の現状について理解させる	観察、ワークシート	2
	雇用と労働問題	・日本における労働問題の歴史と現状を理解させる ・世界における労働問題の歴史と現状を理解させる	観察、ワークシート	2
	社会保障と社会福祉	・世界における社会保障の歴史と特徴を理解させる ・日本における社会保障の歴史と、福祉制度の特徴を理解させる ・少子高齢化問題について理解させる	観察、ワークシート	2
7月	期末考査・解説		観察、ワークシート	2
	農業・食料問題、消費者問題	・日本の農業と食料について、その歴史と制度の特徴を理解させる ・消費者問題について理解させる	観察、ワークシート	2
8月	・現代の国際政治（希望者への講習）	・各国の政治制度について理解させる ・戦後国際関係の展開と日本について理解させる ・国際政治の課題について理解させる（安全保障と核問題）		
	・国民経済と国際経済（希望者への講習）	・国際経済体制の展開について理解させる ・発展途上国の経済、地域主義の動きについて理解させる		

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	政治の基本原則	・民主政治の基本原則について、その歴史と制度の意義を理解させる ・基本的人権の確立について、その歴史と制度の意義を理解させる	観察、ワークシート	2
	日本国憲法の基本原則	・大日本国憲法と日本国憲法の制定経緯と特徴を理解させる ・現憲法の三大原理について、憲法改正について理解させる	観察、ワークシート	2
	基本的人権の保障	・日本国憲法における基本的人権の内容について理解させる ・基本的人権にまつわる判例について理解させる	観察、ワークシート	2
10月	国会と内閣	・国会の仕組みと、立法権について理解させる ・内閣の仕組みと、行政権について理解させる ・行政改革の歴史と動向について理解させる	観察、ワークシート	2
	裁判所、地方自治	・裁判所と司法権について理解させる ・司法制度改革について理解させる ・地方自治の制度と、その課題について理解させる	観察、ワークシート	2
	中間考査・解説			
	政党政治と選挙	・政党の成り立ちと、その意義について理解させる ・選挙制度の特徴と、現代の日本の制度が抱える問題点について理解させる	観察、ワークシート	2
11月	平和主義	・日本国憲法における平和主義の考え方と判例について、理解させる ・自衛隊について、その歴史を理解させる ・在日米軍との関係について、その歴史と判例を理解させる	観察、ワークシート	2
	地球環境問題	・日本における公害についてその歴史と法制度を理解させる ・世界における環境問題の歴史と、現状について理解させる	観察、ワークシート	2
	エネルギー問題	・世界と日本のエネルギー事情について理解させる ・再生可能エネルギーなど、新たなエネルギーへの取り組みについて理解させる	観察、ワークシート	2
	時事問題対策	・2022 秋～2023秋 までの世界と日本の時事について復習し、今年度学んだ知識と結び付けさせる	観察、ワークシート	2
12月	期末考査・解説			2
	問題演習	・共通テストに向けた問題演習を行う	観察、ワークシート	2
1月	問題演習	・共通テストに向けた問題演習を行う	観察、ワークシート	2
	問題演習	・私大入試に向けた問題演習を行う	観察、ワークシート	2
	問題演習	・私大入試に向けた問題演習を行う	観察、ワークシート	2
2月				
3月				